

令和5年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(公民)科目：(現代社会) 対象：(第 3学年 A 組～ F組)

科目担当者：(A B C D E F 組：全クラス)

教科・科目の 指導目標	自己形成と社会形成という大きな2つの課題について、良識ある公民として主体的に考察できるよう時事的事象を取り上げ、自己や社会への関心を高めていく。
----------------	--

	前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>② 1, 2年までは歴史（世界史・日本史）のカリキュラムであることから、「昔」と「今」をつなげることができるよう教科としても指導をしていく。</p> <p>③ 特に、地理の授業を置いていないため、世界史・日本史・現代社会と継続して地理に触れるようにしていく。</p>	<p>① 現代社会においては、「思考の言語化」をめざし、自分が思ったこと・感じたこと・考えたことを文章化したり、発表する活動を増やすことにより、科目への興味関心を高め、主体的な学習活動に結び付けていく。</p> <p>② 本校では地理科目を設置していないが、社会科においては地理的分野の基礎知識は必須であることから、現代社会の授業においても、地理的分野の基礎的な知識の定着をはかれるよう授業を展開していく。</p>	<p>① 副教材や新聞等を用い、時事的事象を生徒へ提示することにより、生徒の現代社会への興味関心を高めていく。</p> <p>② 定期考査等を通して、基礎的な知識の定着をはかる。</p> <p>③ 他科目(特に商業科・家庭科)で学習したことを踏まえ、教科として連携した授業内容を構成していく。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			